

○ 本校の概要

池上本門寺や本門寺公園に隣接し、区内屈指の緑豊かな自然に囲まれた学校である。ほぼ毎年野生のタヌキが現れ、子育てをしている。生徒や教職員、地域の方々もそれをほほえましく見守っている学校である。令和4年度は、第1学年5学級、第2学年4学級・3学年4学級の13学級、約460名の生徒が在籍している。教育目標の「恵まれた環境を生きかし、自主的で、品の良い、健康的な、努力を惜しまない生徒」を育てる。」を掲げ、さらに、令和4年度から村上昭夫校長が着任し、「学校には、感動がある！」「いじめは絶対に許さない。」「相談しよう！」のスローガンを生徒に示し、各教育活動をこれらの言葉に結び付けている。生徒が主体的に取り組み、熱意と力がこもった運動会と清陵祭・合唱コンクール等の学校行事は本校の伝統で、多くの保護者や地域の方が来校する。PTAの応援体制が強力で、コロナ禍以前は「学校支援地域本部」と「親父の会」は毎年夏に校内ペンキ塗りボランティアを主催し、毎年100名近くの生徒がボランティアとして参加があった。活動後には校内の坂を利用した全長約25mの「流しそめん」を実施し、地域と学校をつなぐ役割を担っていた。また、防災活動拠点訓練を池上特別出張所、市之倉北町会、堤方北町会、桐里梅田町会と共同で実施し、本校第2学年生徒が授業の一環として参加し、防災を通して地域の一員として生徒が活動する場になっていた。令和4年度は3年ぶりの実施を予定している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にしっかりと対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とコミュニケーション能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		4: 80%以上			A		
			3: 80%以上が回答した。							
			2: 60%以上が回答した。							
			1: 60%未満であった。							
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おおたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	4: 全教員が行った。		3: 70%以上				B	
			3: 80%以上の教員が行った。							
			2: 60%以上の教員が行った。							
			1: 60%未満であった。							
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	4: 設置教室を使用する全正規教員が週1回以上活用した。		2: 60%以上				C	
			3: 80%以上の正規教員が週1回以上活用した。							
			2: 60%以上の正規教員が週1回以上活用した。							
			1: 60%未満であった。							
他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	4: 対象となる全学級(全教員)で行った。		1: 60%未満				D			
	3: 80%以上で行った。									
	2: 60%以上で行った。									
	1: 60%未満であった。									
体カテストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4: 全教員で行った。									
	3: 80%以上の教員で行った。									
	2: 60%以上の教員で行った。									
	1: 60%未満であった。									
感染症の予防対策を講じながら、運動会、清陵祭をはじめとした行事や取組において、生徒が主体的に活動できる場と機会を設定している。	4: 全教員で行った。									
	3: 80%以上の教員で行った。									
	2: 60%以上の教員で行った。									
	1: 60%未満であった。									
プラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4: 対象となる全学級(全教員)で行った。		4: 80%以上			A		
			3: 80%以上で行った。							
			2: 60%以上で行った。							
			1: 60%未満であった。							
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4: 学期に2~3回知らせた。		3: 70%以上				B	
			3: 学期毎に知らせた。							
			2: 年度間に1回は知らせた。							
			1: お知らせできなかった。							
		学習補助員等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4: 対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。		2: 60%以上				C	
			3: 80%以上の教員が働きかけた。							
			2: 60%以上の教員が働きかけた。							
			1: 60%以下の教員が働きかけた。							
授業改善推進プランを、授業に生かす。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。		1: 60%未満				D			
	3: 80%以上が回答した。									
	2: 60%以上が回答した。									
	1: 60%未満であった。									
タブレットPCを活用した授業方法を工夫し、生徒の特性を考慮した授業で、学力の向上を図っている。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。									
	3: 80%以上が回答した。									
	2: 60%以上が回答した。									
	1: 60%未満であった。									
プラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心の育成	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4: 全教員が行った。		4: 92%以上			A		
			3: 80%以上の教員が行った。							
			2: 60%以上の教員が行った。							
			1: 60%未満であった。							
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4: 学期に2~3回(年間6回)以上行った。		3: 75%以上				B	
			3: 学期に1回(年間3回)以上行った。							
			2: 年度間に1回以上行った。							
			1: 実施しなかった。							
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4: 「組織的対応ができた」と全教員が回答した。		2: 60%以上				C	
			3: 80%以上の教員が回答した。							
			2: 60%以上の教員が回答した。							
			1: 60%未満であった。							
学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4: 「組織的対応ができた」と全教員が回答した。									
	3: 80%以上の教員が回答した。									
	2: 60%以上の教員が回答した。									
	1: 60%未満であった。									
必要事項に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。	4: 必要事項に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。									
	3: 80%以上の教員が回答した。									
	2: 60%以上の教員が回答した。									
	1: 60%未満であった。									

